

飯坂町周辺地域づくり協議会ニュース

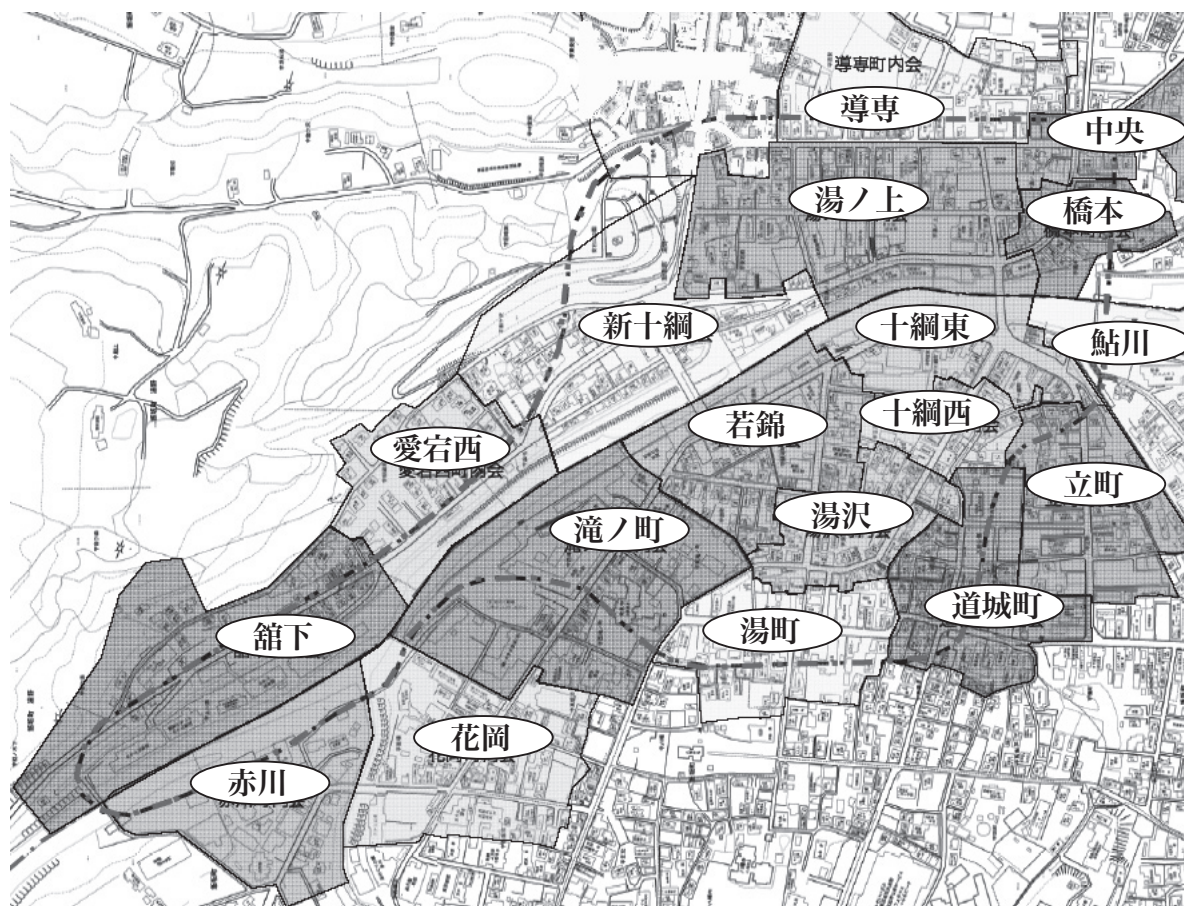
第2号 2006年9月

会長 遠藤孝秀 事務局：飯坂町十綱町3

飯坂温泉観光協会内 024-542-4241

湯野地区飯坂地区の皆様へ

このニュースをもとに、住民の皆様が関心を抱き、53名の協議会員のどなたとでも「飯坂の地域づくり」を語り合ってもらえると、幸いです。



会 長……遠藤孝秀（飯坂温泉旅館協同組合）

副 会 長……安斉忠作（飯坂温泉観光協会）、川又知子（飯坂町商工会）、鈴木信男（飯坂地区町内会連合会）、菱沼清（湯野地区町内会連合会）

事務局長……宮田潔（飯坂温泉観光協会事務局）

※正副会長・事務局長（全委員会への出席に努めます）

協議会への、行政からのオブザーバー

福島県：県北地方振興局地域づくり・商工労政グループ、県北建設事務所企画調査グループ

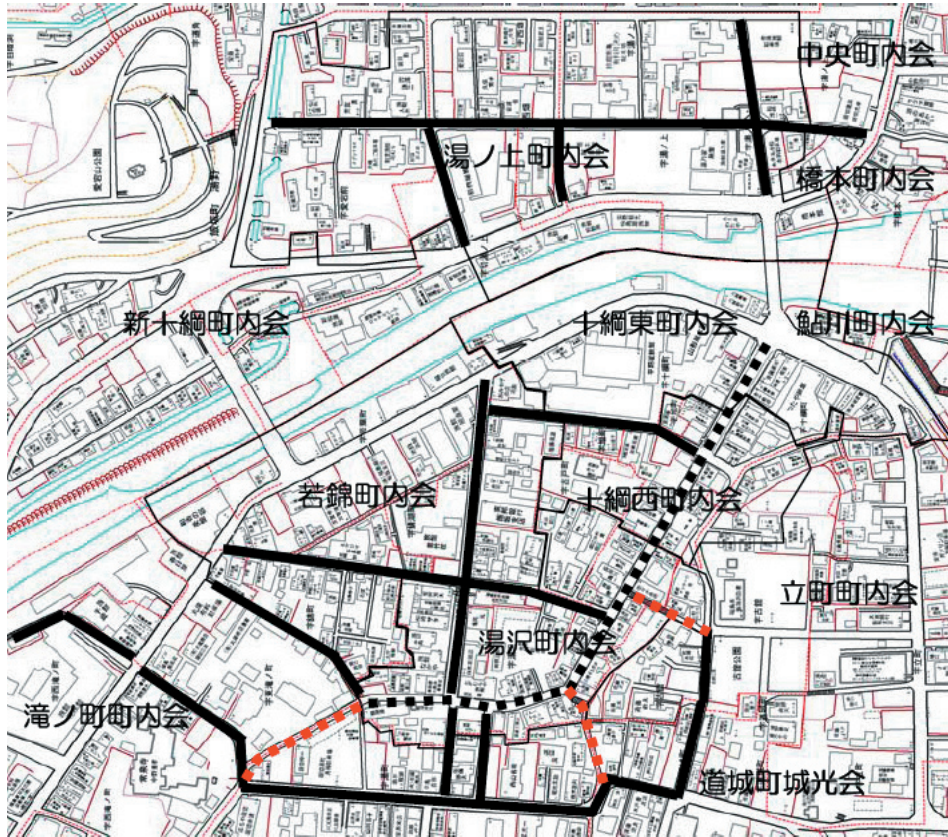
福島市：商工観光部観光課、建設部河川課、都市政策部都市計画課、都市政策部市街地整備室、飯坂支所

●役員の4月～8月の活動日……5月9日：役員会……7月12日：正副会長打合せ……7月25日：役員会&3委員会活動説明会……8月7日：正副会長会議。

---第1委員会 中間報告---

(ここに記されているのは決定ではありません。こうなるのが望ましいと協議会が審議している途中の内容です。まとまってから、案として、福島県や福島市へ提案されます)

A... 福島市道の美装化：誰でも素敵な道を歩きたい。下記の太い黒い線の路線が望ましいとの意見が出ています。点線は、湯沢の「街なみ環境整備事業」で美装化が進行中です。



B... 美装化のデザイン：ほとんどが「石畳風」、一部は「石張り」が良さそう。いわき市で事例を見学し、参考にしたいと思います。また、街路灯や電柱についても美装化を検討中です。

C... 修景整備：一般住宅、商店、旅館等の方が住民協定を結び、和風を基調としたデザインの整備を行うこと。また、その整備に対して行政から補助金を受けられる制度も今後策定予定です。現在、湯沢の「街なみ環境整備事業」の修景をお手本にし、回遊性を重視して区域及び協定も検討しています。

●第1委員会●担当事項：道路整備、修景整備、ポケットパーク、など●

委員長……松崎益一（庶務・湯沢町内会及び飯坂町商工会）

副委員長……神野忠（庶務・花岡町内会）、佐藤裕美（庶務・飯坂町商工会）

委員……佐々木友三（花岡町内会）、和泉田久江、大沼征子（滝ノ町町内会）、川又勝彦、西山友幸（湯町町内会）、佐藤嘉久男（湯沢町内会）、菅野勉、長谷川迪夫（導専町内会）、黒澤仁（湯ノ上町内会）、紺野幸子（庶務・飯坂温泉旅館協同組合）、渡辺悦夫（庶務・飯坂温泉旅館協同組合）

● 4月～8月の活動日（全7回）……5月22日……6月12日（飯坂内現地見学）……6月26日……7月10日……7月24日……8月11日……8月28日。

――第2委員会 中間報告――

(ここに記されているのは決定ではありません。こうなるのが望ましいと協議会が審議している途中の内容です。まとまってから、案として、福島県や福島市へ提案されます)

A……旧若喜本店跡地の整備案

- 1, 乙和の清水や波来薬師などの史跡は、生かしたい。
- 2, 東屋やベンチ、植栽を配した公園スペースが欲しい。
- 3, 日本土木学会承認の文化遺産である十綱橋をライト・アップして見たい。
- 4, 車椅子やベビー・カーが入れる「ユニバーサル・デザイン」が望ましいけど、県道から基礎面までの段差 6m をスロープにすると、132m もの長さになってしまう。県道の高さに床を造る必要があるかもしれません。
- 5, 誰でも綺麗なトイレを利用したいですね。
- 6, 由緒ある波来湯を新築し、熱い温泉と温めの温泉の湯船を、男女別に設けてみたい。
- 7, 新波来湯の利用率を上げるためには、若干の駐車スペースも望まれます。
- 8, 摺上川を活かしたい。
- 9, 欲を言えば、イベントのスペースも欲しい。

●第2委員会●担当事項：河川整備、拠点施設、公衆浴場、など●

委員長……藤原純（庶務・飯坂温泉観光協会）

副委員長……黒澤仁（庶務・湯ノ上町内会）、二階堂信子（庶務・飯坂方部女性団体連絡協議会）

委員……村上圭子（湯ノ上町内会）、佐藤継男、中村健（新十綱町内会）、畠宏之、
穴戸信義（赤川町内会）、斉藤隆夫、斉藤伸洋（若錦町内会）、安斎市兵衛、清
野雅美（十綱東町内会）、岸波勝正（舘下町内会）、佐々木繁、桜井利男（愛宕
西町内会）、遠藤よね子（庶務・飯坂方部女性団体連絡協議会）、大山弘明（飯
坂温泉観光協会）

● 4月～8月の活動日（全7回）……5月23日……6月13日……6月22日（飯坂内現地見学）……6月27日
……7月11日……8月8日……8月22日。

旧若喜旅館本店残存建築物の撤去と整備に、ご署名、ご寄付いただいた皆様へ

署名総数は 6,394 名 募金総額は 8,970,589 円 (追加分含む)

私たちの署名と募金を受理していただいた福島市より、地権者である飯坂温泉旅館協同組合へ解体工事費の補助がなされ、8月から撤去工事が始まっております。来年2月末に更地となる当該300坪は、行政に寄贈される予定であり、跡地利用に関しては、飯坂町周辺地域づくり協議会が整備案を検討しています。

紙面をお借りして、深く、署名と募金活動へのご協力の感謝を申し上げます。

(旧) いいざか夢づくり連合会 会長 鈴木信男

参加団体……飯坂地区町内会連合会、湯野地区町内会連合会、飯坂温泉観光協会、飯坂町商工会、飯坂温泉旅館協同組合、飯坂方部女性団体連絡協議会、飯坂食親会、飯坂ロータリークラブ、飯坂芸妓芸妓屋組合、飯坂温泉バンケットサービス業協同組合、福島県バンケットサービス業協同組合福島支部、飯坂社交飲食業組合、飯坂マッサージ師会、日本バンケット事業協同組合福島県支部、飯坂町金融団、飯坂ライオンズクラブ、福島県飯坂建設組合(順不同)。支援団体……飯坂方部自治振興協議会。

――第3委員会 中間報告――

(ここに記されているのは決定ではありません。こうなるのが望ましいと協議会が審議している途中の内容です。まとまってから、案として、福島県や福島市へ提案されます)

A……もてなし空間について

1, 飯坂の地域づくりは、住民とお客様のためのものです。住んでいる私たちが快適だと感じるなら、訪問客もそう感じます。飯坂内現地見学した6月6日はとても暑く、歩き疲れ、道路脇の狭いスペースにでも、「ここに椅子やベンチや日陰がちょっとあったら、町の人に親切にいただいている気がして、いいだろうなあ」と思いました。そこが「もてなし空間」です。

B……地区内で、すでに住民が設置している「もてなし空間」と、これから施設の整備にあわせ設置されるベンチやトイレを整理しました。

- 1, 自分(住民)がお客様(飯坂への観光客)を「もてなしたい」という気持ちが大事。
- 2, 個人の土地で、空いているスペースに、「もてなし空間」を設けてもらえると、嬉しい。
- 3, 椅子などの購入資金は設置希望者の方から協力金をいただき、協議会が申請者になり、行政からの補助を活用しながら購入することが望ましい。
- 4, 設置物は協議会が行政から補助を受け、設置希望者の方から協力金をいただきながら整備するので、所有権は協議会となります。
- 5, 設置後の維持管理は、土地の所有者がするべきでしょう。
- 6, 2～300m間隔で設置されるのが、望ましい。
- 7, 休業している旅館や商店の玄関などに設置したら、雰囲気が変わるでしょう。
- 8, すでに足湯のある照井さんや、椅子を置いている小林果実店さんの風景は、嬉しく見えます。

C……近々、某休眠旅館の玄関口に、協議会主体で「もてなし空間」の見本を設置する予定です。完成したら、皆様へお知らせします。

●第3委員会●担当事項：もてなし空間、まちづくり活動の実践、水質改善、交通対策、など●

委員長……山田栄治(庶務・飯坂町商工会)

副委員長……大山善治郎(庶務・十綱西町内会)、高橋美奈子(庶務・飯坂温泉旅館協同組合)

委員……木戸康友、佐藤隆昭(道城町城光会)、丸野内隆一郎(十綱西町内会)、舟山芳朗、島貫栄治(鮎川町内会)、山田邦男、井口俊三(立町親和会)、阿部孝義、寺島利男(橋本町内会)、長谷部正、遊佐富士雄(湯野中央町内会)、阿部寛(飯坂温泉旅館協同組合)、須藤君夫(飯坂温泉観光協会)

●4月～8月の活動日(全7回)……5月23日……6月6日(飯坂内現地見学)……6月13日……6月27日……7月10日……8月8日……8月22日。